

いま問い直す、戦時下の「国民」と「文学」

「帝国」



戦争と文学

▼監修▲

岩淵宏子

日本女子大学教授

長谷川啓

城西大学女子短期大学部教授

ゆまに
書房 YUMANI
SHOBOU

今世紀初頭から、テロと戦争の連鎖が再開している。ソビエト崩壊後、全世界の覇者となったアメリカの武力による支配は、九・一一事件の報復としてのタリバン掃討に始まり、大量破壊兵器の保有やテロリストとの連繫を口実にイラクへの侵略にまで拡大し、多くの人々に犠牲を強いている。

アメリカの動向に連動して日本においても、有事立法の法制化やイラクへの自衛隊派兵につづく多国籍軍への参加、さらにはメディア規制や平和憲法改悪への準備など、戦争に向って歩みはじめているような昨今である。

このような危機的な状況は、かつての日本帝国主義戦争におけるアジア侵略の記憶を蘇らせ、過去の問題ではなく、まさしく現在の問題であることを痛感させる。

歴史の検証は未来への教訓にほかならないが、同様の轍を踏まないためにも、満州事変から日中戦争を経て太平洋戦争へと至る「十五年戦争」を、今こそ検討し直す必要があるだろう。そして今日状況なればこそ、その全貌をより明らかにすることが可能ではなからうか。

確かにこれまでも戦時下の動向は研究されてきたが、文学の領域に限っていえば、いまだ本格的な検討はなされていない。近代日本の作家および文学が、「大日本帝国」戦争下の国民国家体制のなかにいかに回収されていったか、その実態を総体として捉え直すこと、それが本復刻シリーズ刊行の目的である。

したがって、従来研究されてきた著名な作家ではなく、大衆作家や無名に近い作家、あるいは作家ではない人々を取りあげ、可能な限りさまざまな分野にアプローチをし、多角的に戦争文学を見極めることができるような心がけた。文学は時代の生活や文化、思想を直截的なかたちで写し出す鏡であるが、侵略戦争を聖戦として美化し、「母性」をはじめとして、人間の善意や勇気、誠実さや純粹さまでもが、いかに利用され尽くしていたかが判然としよう。

本シリーズが、文学研究はもとより、多様な領域の研究に役立つことを期待するとともに、少しでも現在の状況に抗し、二十一世紀を生きる人々の指針となれば幸いである。

第一回配本 全14巻

●全14巻揃定価213,150円(本体203,000円) ISBN4-8433-1291-6 C3393



●第一巻 ISBN4-8433-1293-2 C3393

永田美那子 **男装従軍記** (解説・小林美恵子)

昭和七年・日本評論社 ◎定価18,900円(本体18,000円)

●第二巻 ISBN4-8433-1294-0 C3393

長谷川春子 **満洲国** (解説・小林裕子)

昭和十年・三笠書房 ◎定価9,450円(本体9,000円)

●第三巻 ISBN4-8433-1295-9 C3393

山岸多嘉子 **婦人従軍記** (解説・渡邊澄子)

昭和十二年・中央公論社 ◎定価14,700円(本体14,000円)

●第四巻 ISBN4-8433-1296-7 C3393

北林 透馬 **花ひらく亜細亜** (解説・神谷忠孝)

昭和十四年・紫文閣 ◎定価22,050円(本体21,000円)

●第五巻 ISBN4-8433-1297-5 C3393

井上友一郎 **従軍日記** (解説・鈴木貞美)

昭和十四年・竹村書房 ◎定価11,550円(本体11,000円)

●第六巻 ISBN4-8433-1298-3 C3393

林 房雄 **大陸の花嫁** (解説・浦田義和)

昭和十四年・第一書房 ◎定価17,850円(本体17,000円)

●第七巻 ISBN4-8433-1299-1 C3393

間瀬 一恵 **大空の遺書** (解説・加納実紀代)

昭和十五年・興亜日本社 ◎定価11,550円(本体11,000円)

●第八巻 ISBN4-8433-1300-9 C3393

田村泰次郎 **強い男／銃について** (解説・池田浩士)

昭和十六年・昭和房 昭和十六年・高書院 ◎定価15,750円(本体15,000円)

●第九巻 ISBN4-8433-1301-7 C3393

李 如雲 **抗日兵の手記** (解説・日比谷出版社)

昭和十五年・日比谷出版社

●第十巻 ISBN4-8433-1302-5 C3393

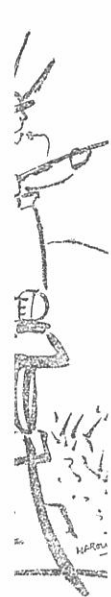
大村 謙三 **戦ふ半島志願兵** (解説・河合修)

昭和十八年・東都書籍 ◎定価15,750円(本体15,000円)

●第十一巻 ISBN4-8433-1303-3 C3393

鷺尾よし子 **満支紀行 和平来々** (解説・谷口絹枝)

昭和十六年・牧書房 ◎定価17,850円(本体17,000円)



推薦します

東京大学教授

上野千鶴子

戦争と文学

戦争中、文学者は沈黙を守っていたのだろうか？
とんでもない、かれらは従軍にかり出され、あるいは
みずから積極的に発言し、戦争中に多弁だった。戦後
のわたしたちは、つごうの悪いことを忘れる歴史的健
忘症のおかげで、それを忘れていられるだけだ。
ここに登場する作家たちには、なじみのない名前が
多いだろう。文学史のなかには、同時代に名を馳せな
がら歴史には残らなかった書き手たちがいる。歴史が
作品の価値を判定したのではない。あとから来た者た
ちが、覚えていたいことだけを記憶に残した選別の結
果だ。歴史家はいつも時代の墓堀人である。彼らはゾ
ンビをよみがえらせ、わたしたちが何を忘れようと思
ったかを目の前につきつける。
だが文学と戦争の関係は一筋縄ではいかない。従軍
作家にはなれても兵士にはなれなかった者の鬱屈、女
に生まれたために男たちの狂騒に乗りきれなかった者
のシニシズム。文学というプリズムをおしてわたし
たちは、戦争の見知らぬ貌に出会うだろう。編者と版
元の企画力に拍手したい。

●第十一卷

松永 健哉

民族の母

ISBN4-8433-1303-3 C3393

(解説・前田角蔵)

昭和十六年・四季書房

◎定価11,550円(本体11,000円)

●第十二卷

千葉 泰子

軍靴の響

ISBN4-8433-1304-1 C3393

(解説・矢澤美佐紀)

昭和十六年・スメル書房

◎定価9,450円(本体9,000円)

●第十三卷

田郷 虎雄

理恵子の手帖

ISBN4-8433-1305-X C3393

(解説・菅井かをる)

昭和十六年・実業之日本社◎定価12,600円(本体12,000円)



●第十四卷

依田よしゑ

白衣の船

ISBN4-8433-1306-8 C3393

(解説・沼沢和子)

昭和十六年・文見書院

◎定価13,650円(本体13,000円)



●第十五卷

川口松太郎

蘇州の夜

昭和七年・日本評論社

◎定価12,900円(本体12,000円)

ISBN4-8433-1307-6 C3393

●第十六卷

棟田 博

中華理髪店

昭和十六年・新小説社

◎定価11,950円(本体11,000円)

ISBN4-8433-1308-4 C3393

●第十七卷

中地 清

みなみ

昭和十七年・矢貴書店

◎定価13,950円(本体13,000円)

ISBN4-8433-1309-2 C3393

●第十八卷

軍人援護会東京支部編

花束

昭和十七年・東京支部

◎定価10,500円(本体10,000円)

ISBN4-8433-1310-6 C3393

●第十九卷

森 三千代

晴れ渡る仏印

昭和十七年・実業書房

◎定価12,900円(本体12,000円)

ISBN4-8433-1311-4 C3393

●第二十卷

由利 聖子

舊物語

昭和十七年・実業之日本社

◎定価10,500円(本体10,000円)

ISBN4-8433-1312-2 C3393

●第二十一卷

昭和十七年・鶴書房

昭和十八年・一條書房

深尾須磨子

赤道祭／沈まぬ船

◎定価11,950円(本体11,000円)

ISBN4-8433-1313-0 C3393

●第二十二卷

清水 国治

南京偵緝隊

昭和十七年・東光堂

◎定価14,700円(本体14,000円)

ISBN4-8433-1314-9 C3393

●第二十三卷

柳原樺子(白蓮)

民族のともづ

昭和十八年・奥川書房

◎定価13,950円(本体13,000円)

ISBN4-8433-1315-7 C3393

●第二十四卷

山中峯太郎

永遠の義兄弟

昭和十八年・拓南社

◎定価11,950円(本体11,000円)

ISBN4-8433-1316-5 C3393

●第二十五卷

日本文学報国会編

日本の母

昭和十八年・春陽堂書店

◎定価29,250円(本体25,000円)

ISBN4-8433-1317-3 C3393

●第二十六卷

大辻 司郎

スマートラ従軍記

昭和十八年・非凡閣

◎定価11,950円(本体11,000円)

ISBN4-8433-1322-X C3393



「帝国」戦争と文学

全30巻

【監修】岩淵宏子・長谷川啓

A 5 判上製・函入り ● 揃定価428,400円（本体408,000円）

ISBN4-8433-1290-8 C3393

《配本予定》 ※各巻の内容および価格は中面を御覧下さい。

★ [第1回配本] 全14巻 2004年9月刊行
揃定価213,150円（本体203,000円）
ISBN4-8433-1291-6 C3393

★ [第2回配本] 全16巻 2005年6月刊行
揃定価215,250円（本体205,000円）
ISBN4-8433-1292-4 C3393

●本書の特色●

- 満州事変から太平洋戦争期までの単行本を精選。
- 戦時下における庶民の生活や意識、社会関係などを知る上でも有益な作品集です。
- 入手困難な貴重書を揃え、戦時下文学の研究に貢献する書目をラインナップしました。
- 戦時下の状況をより正確に把握できるよう、小説・詩歌から従軍記・随筆までを広く収録いたしました。
- ジャンルを問わず時代順に配列し、戦時下の文学の全体像が俯瞰できるようにしました。
- 中国・朝鮮・東南アジアなどの〈外地〉と日本との関係を主題とした作品も多数収録されています。
- 各巻の巻末に第一線の研究者による解説（作品の背景、歴史的価値など）を付しました。
- 文学のみならず、近代史の研究にも多いに有益な作品集です。



〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL.03 (5296) 0491
FAX.03 (5296) 0493
<http://www.yumani.co.jp/>
e-mail eigyou@yumani.co.jp

満州事変～太平洋戦争期に刊行された小説・詩集・歌集・ルポルタージュ・従軍記などの単行本を精選して復刻。文学者のみならず、兵士、従軍看護婦、戦争未亡人、「日本の母」、市井の一般庶民など、さまざまな階層のひとびとと戦争との関わりが一望できるようラインナップ。イラク戦争勃発以後、戦争の悲惨は再び身近な問題となりつつあります。本書は、いわゆる十五年戦争下で、国民がいかに戦争の波にまきこまれ、どのような形で結果として戦争に加担していったかを検証していくための貴重な作品集です。

関連企画の「案内」

※表示価格には消費税が含まれています。

〈戦時下〉の女性文学

【監修】長谷川啓 全18巻 ● 揃定価247,800円
昭和12年、日中戦争開始。同16年、太平洋戦争勃発。戦争は女性に何をもたらしたのか？ 戦時下の様々な作品を集成。

戦後の出発と女性文学

【監修】尾形明子・長谷川啓 全15巻 ● 揃220,500円
戦後、女性はいったい何を語り始めたのか。日本の女性がようやく自由を手にした終戦後10年間の作品を編年体で収録。

日本植民地文学精選集

全47巻 ● 揃602,700円
文学史から抜け落ちた満洲・朝鮮・台湾などの植民地文学。歴史的価値が高い作品を厳選。日本人外の日本語文学も収録。

満洲浪漫 全7巻・別巻1

【監修】鈴木貞美・劉建輝・呂元明 ● 揃94,500円
その全貌を窺い知ることができなかった幻の雑誌。中・露の作家も執筆、「満洲ルネサンス」を象徴する格別のテキスト。

新・プロレタリア文学精選集

【監修】浦西和彦 全20巻 ● 揃252,000円
現在どの刊本でも読めない傑作の数々を精選。各巻末に第一線の研究者による解説と収録作家の著書目付した決定版。

編年体 大正文学全集

全15巻・別巻 ● 揃110,460円
第一線の研究者が、一年一冊を分担編集。あらゆるジャンルの作品を厳選、集大成したこれまでにない新機軸の文学全集。

ご注文書	ゆまに書房 Tel.03 (5296) 0491 / Fax.03 (5296) 0493 年 月 日			取扱店	※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。
	「帝国」戦争と文学 第1回配本・全14巻 ISBN4-8433-1291-6 C3393 ● 揃定価213,150円（本体203,000円） セット				
	「帝国」戦争と文学 第2回配本・全16巻 ISBN4-8433-1291-6 C3393 ● 揃定価215,250円（本体205,000円） セット				
	お名前 住所 TEL ()				